

浜松ウエルネス・ヘルスケア現場ニーズ情報交換会

～ウエルネス・ヘルスケア関連の新規事業創出を目指して～

日 時：令和 2 年 10 月 8 日（木） 15:00～17:00

会 場：浜松医科大学医工連携拠点棟 3 階大会議室 または、オンライン会議システム「Zoom」

定 員：医工連携拠点棟 40 名（先着順）、オンライン会議システム「Zoom」100 名（先着順）

参加費：無料

人生 100 年時代を迎え、私たちが健康で幸せに暮らすための新しい技術やサービスである「ヘルステック」には高い注目が集まっています。

そこで「予防・健幸都市」の実現を目指す、浜松ウエルネスプロジェクトでは、こうした「ヘルステック」をはじめとしたウエルネス・ヘルスケア関連の新規事業創出及び技術・人材の集積などにつなげるための取組の第 1 弾として、予防医療や保健事業の現場ニーズを地域企業等に紹介・意見交換を行い、新規事業開発のヒントにしていただくための情報交換会を開催します。

参加を希望する場合は、**10月6日(火)**までに下記の事務局まで E-mail でお申し込みください。E-mail の件名は、「現場ニーズ情報交換会参加希望」としていただき、本文に、①「参加方法（「医工連携拠点棟」、「オンライン」から選択）」、②「企業・団体名」、③「所属・役職」、④「氏名」、⑤「連絡先（電話・E-mail）」をそれぞれご記載ください。

オンラインで参加される場合は、各自でインターネット環境とパソコンまたはタブレットをご用意ください。参加申込いただいた方には、後日、聴講に必要な ID、パスワードをお送りします。

- プログラム -

◆ニーズ紹介・意見交換①：15:05～16:00

「With コロナ社会で健康寿命を延ばす 7 つのポイント」

浜松医科大学医学部医学科健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 様

厚生労働科学研究班の調査によると、浜松市は大都市別（政令指定都市と東京都区部）の健康寿命が男女ともに 3 期連続第 1 位です。

本情報交換会では、公衆衛生学の観点から、健康寿命の延伸と相関の見られる要素を紹介しながら、With コロナの状況下でも、健康寿命を延ばしていくために必要と考えられることについてお話しします。

◆ニーズ紹介・意見交換②：16:05～17:00

「年間 2 万 7 千人が受診する人間ドックの最前線と舞台裏」

社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷健康診断センター事務長 岡野 淳 様

聖隷健診センターでは、人間ドックや健康診断における検査の精度管理に日々注力しております。本情報交換会では、人間ドックにおける一連の運用と課題をご紹介します。

当センターでは、『自己の健康を守るために活用したい』と地域で選ばれ続ける施設を目指すため、利用される方々のニーズに応えるサービス・システムを日々追求しています。

〔申込み／お問合せ〕

浜松ウエルネス推進協議会事務局（浜松市健康増進課）

E-mail: kenko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

TEL: 053-453-6125

共催：浜松市 浜松ウエルネス推進協議会 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

後援：関東経済産業局（予定）